

飼料用キシラナーゼ（L型）

Cat. No. FXLG-001

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明

飼料用キシラナーゼ（タイプL）は、*Trichoderma reesei* を用いた液体深部発酵（submerged liquid fermentation）により製造され、その後、下流工程（精製・濃縮等）を経て得られる。本酵素は飼料中のキシランを分解し、飼料原料に含まれる栄養素の利用性を向上させることで、非在来型の植物由来飼料原料の活用拡大を支援し、飼料コストの低減、動物の生産成績の向上、ならびに動物排泄物に起因する環境汚染の低減に寄与する。

用途

飼料中の非デンプン性多糖類を分解し、消化管内の消化内容物粘度を低減する。植物細胞壁を破壊して栄養素を遊離させ、栄養素の消化率を向上させる。飼料の代謝エネルギーを高め、配合設計コストを低減し、飼料製品の品質を改善する。キシラナーゼ加水分解により生成されるキシロオリゴ糖は有益な腸内細菌の増殖を促進し、腸内微生物バランスの調節に寄与する。糞便排出量を低減する。

製品情報

種

トリコデルマ・リーゼイ

由来

浸漬液体発酵

外形

淡黄色粉末

形態

粉末

pH安定性

pH 3.0～7.5の範囲にわたり、比較的高い活性を示す。

最適pH

5.0

熱安定性

飼料と混合し、75～95℃で5分間処理した後も、85℃では酵素活性が比較的高い水準で維持されます。従来の飼料ペレット化工程は、性能に影響が最小限です。

機能

飼料中のキシランおよびその他の非デンプン性多糖類（NSP）を分解し、消化管内容物の粘度低減に寄与するとともに、栄養素の放出および利用性の向上を促進します。

基質

キシラン；飼料中の非デンプン性多糖類

反応

キシランの加水分解により、キシロオリゴ糖が生成される。

利点

Relatively high activity across pH 3.0-7.5. Good stability under high-temperature feed-processing conditions. Supports nutrient utilization and feed quality while reducing digesta viscosity.

使い方

推奨用量：配合飼料1メートルトン当たり60～120g。特定の飼料配合設計要件に応じて用量を調整してください。

保管・発送情報

保存方法

輸送および保管中は遮光し、乾燥した換気の良い環境下で低温保管してください。涼冷・乾燥条件下において、未開封の原包装のまま保管してください。